

第47回群馬学連続シンポジウム

〈シリーズ・地域史の画期を問い直すIII〉

# 学校様 の 時代

—村や町の近世・近代—

2025 7月12日(土)  
13:00 ▶ 16:00

会場 群馬県立女子大学  
講堂

参加費 500円  
(大学生以下無料)

定員 300名  
\*事前申し込みが必要です。  
(裏面参照)

### 参加特典!

本シンポジウムの記録集となる『地域学ブックレット 群馬の歴史と文化遺産 Vol.17』(2026年度刊行予定)を贈呈します。

\*配布方法は別途ご案内します。

## 第1部 講演 13:15~14:45

地域のなかで郷学を考える

国立歴史民俗博物館 准教授  
工藤 航平

嚮義堂と伊勢崎郷学の展開

群馬県立文書館 主任  
小嶋 圭

足利学校の文化財としての再生と  
日本遺産への認定

史跡足利学校 研究員・学芸員  
大澤 伸啓

## 第2部 パネルディスカッション

15:00~16:00

地域教育と教育文化財から見た  
近世・近代移行期の画期

パネリスト — 工藤 航平・小嶋 圭・大澤 伸啓  
コーディネーター — 築瀬 大輔

お申し込み  
お問い合わせ

群馬県立女子大学事務局 連携推進係

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

電話：0270-65-8511 (大学代表)

E-mail：gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp WEB：https://www.gpwu.ac.jp/

申し込み  
フォーム



《主催》群馬県立女子大学

《後援》玉村町 上毛新聞社 群馬テレビ FM GUNMA 群馬県地域文化研究協議会 群馬歴史民俗研究会 群馬歴史資料継承ネットワーク〈ぐんま史料ネット〉

# 学校様の時代 —村や町の近世・近代— 〈シリーズ・地域史の画期を問い直すIII〉

近年、創立150周年を祝う小学校が全国各地に続出している。現在の小学校の多くが、明治5（1872）年に発布された学制を機に創立されたためである。実は近世の日本各地には藩校・郷学・私塾・寺子屋と呼ばれる武士や庶民のための、実に多様な教育機関が存在していたのだが、教育制度において近世と近代は連続しないとする理解が一般的である。したがって、昨今の「小学校150周年ブーム」とは、初等教育を初めとする日本の学校制度が近代国民国家の創出とともに誕生したという点を重く見る歴史観に根ざしたものと言える。

近世の地域教育機関の整備と言うと、全国的には伊勢崎藩が特に熱心だった。伊勢崎領内には、享和3（1803）年に設立した伊与久村（伊勢崎市境伊与久）の五停堂を皮切りに、武士と庶民のための、郷学と呼ばれる学校が官民協力で25校開校している。郷学は全国で1,000校ほどが設立されたとされるのだが、その多くは近世・近代移行期、中でも幕末から明治初期に集中している。このことは、近世の民衆教育機関と近代の小学校を接続させて捉える余地のあることを示唆する。さらに、地域が自発的に整えていった村や町の学校のことを、伊勢崎や玉村、足利を初めとする各地の人々は畏敬と親しみの念を込めて「学校様」と呼ぶのであった。こうした事実を踏まえたとき、国家の側から語られがちな近代学校制度の歴史を、民衆の手で作られられていったという地域史の視点で再構築することの意義を容易に想像することができる。

平成27（2015）年、日本各地の郷学を含む歴史的教育的場（建造物・史跡）がネットワーク化され、日本遺産「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」として認定された。また、伊勢崎藩25郷学のひとつの嚮義堂（玉村町樋越）は明治43（1910）年に建てられた校舎が現存しており、玉村町重要文化財に指定されている。このように、近世から近代初頭の地域教育を担った教育施設や教材などに文化的価値を見だし、地域社会の中に市民とともに再生させようとする流れがある。

このような状況を踏まえ、本シンポジウムでは、近世・近代移行期の地域史の画期を、地域教育と教育文化財という観点から問い直すことで、地域史理解の独自性と市民を交えた歴史理解の可能性を展望しようとするものである。

## 講師プロフィール

### 工藤 航平 くどう こうへい/Kohei Kudo

国立歴史民俗博物館 准教授

1976年 神奈川県横浜市生まれ  
総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究博士後期課程修了  
日本近世史、アーカイブズ学 博士（文学）  
国文学研究資料館機関研究員、東京都公文書館史料編さん担当専門員を経て、2022年より現職。  
著書に『近世蔵書文化論 - 地域〈知〉の形成と社会 -』（勉誠出版、2017年）、共編著『REKIHAKU12 蔵書をヒラク』（国立歴史民俗博物館、2024年）、論文に「幕末維新期にみる地域教育態勢の展開」（荒武賢一朗編『近世史研究と現代社会—歴史研究から現代社会を考える—』清文堂出版、2011年）、「地域史からの『郷学』の再評価—明治三年前橋藩領川島分界の河島書堂創設を事例に—」（埼玉県立文書館編『文書館紀要』第21号、2008年）など。  
市原歴史博物館協議会委員、千葉歴史・自然資料救済ネットワーク共同代表。

### 小嶋 圭 こじま けい/Kei Kojima

群馬県立文書館 主任

1990年 群馬県太田市生まれ  
東京学芸大学教育学部卒業、同大学大学院教育学研究科修士課程修了、高崎経済大学大学院博士後期課程在学中  
日本近世史、修士（教育学）  
群馬県公立小学校教諭、群馬県文化財保護課を経て、2025年より現職。  
「近世治水政策の地域的対応と地域意識—館林領普請組合の成立伝承を視点に—」（地方史研究協議会編『「川合」と「里沼」：利根川・渡良瀬川合流域の歴史像』、雄山閣、2024年）、「三右衛門日記」に見る若者組と地域秩序—日記史料の歴史民俗学的分析から—（『群馬歴史民俗』43号、2022年）など。  
群馬歴史資料継承ネットワーク〈ぐんま史料ネット〉運営委員。

### 大澤 伸啓 おおさわ のぶひろ/Nobuhiro Ohsawa

史跡足利学校 研究員・学芸員

1959年 栃木県足利市生まれ  
明治大学文学部史学地理学専攻卒業  
中世考古学、日本庭園学、文学士  
足利市教育委員会にて文化財保護行政に携わる。足利市立美術館長、生涯学習課長、史跡足利学校事務所長を経て定年退職、その後史跡足利学校学芸員となり、2024年より研究員を併任。2010年より立正大学の非常勤講師（考古学概論・文化財保存論）を務める  
著書に『樺崎寺跡』（同成社、2010年）、共著に『中世東国の世界1 北関東』（高志書院、2003）、「奥大道—中世の関東と陸奥を結んだ道—」（高志書院、2021）など。  
日本庭園学会理事、栃木県考古学会副会長、栃木県中世考古学研究会長。

### 築瀬 大輔 やなせ だいすけ/Daisuke Yanase

群馬県立女子大学 教授

1965年 群馬県伊勢崎市生まれ  
國學院大学大学院文学研究科博士課程後期修了  
日本中世史 博士（歴史学）  
群馬県立板倉高等学校教諭、群馬県教育委員会文化財保護課、群馬県立歴史博物館学芸係長を経て、2018年より群馬県立女子大学に在職。  
著書に『小田原北条氏と越後上杉氏』（吉川弘文館、2022年）、『関東平野の中世』（高志書院、2015年）、『上野の戦国地侍』（みやま文庫、2012年）、共編著に『中世の北関東と京都』（高志書院、2020年）、『北関東の戦国時代』（高志書院、2015年）、共著に『戦国一人一州の150傑—』（上毛新聞社、2021年）など。  
群馬県文化財保護審議会専門委員、館林市史編さん専門委員、伊勢崎市史編さん専門委員、群馬歴史資料継承ネットワーク〈ぐんま史料ネット〉代表。

## 参加特典

本シンポジウムの記録集となる『地域学ブックレット 群馬の歴史と文化遺産 Vol.17』（2026年度刊行予定）を贈呈します。

\*配布方法は別途ご案内します。

## 書籍展示販売

会場にて、出演者著書、関連書籍の展示販売を行います。

協力：戸田書店榛名店

## 参加申し込み方法（事前予約が必要です）

定員 300名

次のいずれかの方法で、  
2025（令和7）年7月10日（木）までにお申し込みください。

### ① インターネット（推奨）

大学ウェブサイトまたは右下の二次元コードから参加申し込みフォームにアクセスし、氏名・住所・メールアドレス等を入力して参加者登録を行ってください。



### ② メール

「第47回群馬学連続シンポジウムに参加希望」、「氏名」、「住所」、「電話番号」を明記して以下のアドレスまで送信してください。

E-mail

gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp  
(群馬県立女子大学事務局連携推進係あて)

### ③ 電話

電話で「第47回群馬学連続シンポジウムに参加希望」、「氏名」、「住所」、「電話番号」を係員に伝えてください。

受付時間

平日 9:00 から 17:00 まで

電話番号

0270-65-8511（大学代表）

イベントメールリストに登録を!

インターネット、またはメールでお申し込みをされると、群馬学センターイベントメールリストに登録され、群馬県立女子大学や群馬学センター、または後援・協賛団体等が主催する講演会・シンポジウムなどの情報をいち早く受け取ることができます。この機会にぜひ、群馬学センターイベントメールリストにご登録ください。

お問い合わせ

群馬県立女子大学事務局 連携推進係

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

TEL / 0270-65-8511

E-mail / gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp

ウェブサイト

